

事務事業名 児童生徒遠距離通学費補助金

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	1	児童生徒の安全確保
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 51 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>バス通学児童・生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の対象 正規の交通機関があり、これを利用して通学する地域から通学する児童及び生徒であって、3か月定期券代金の1か月所要額が小学生の場合2,700円、中学生の場合5,200円以上となる地域から通学する児童生徒等を対象とする。 ・補助実績 小学校 2校 14名 中学校 3校 64名
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担を軽減するために、今後も継続して事業を実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市遠距離通学児童及び生徒通学費補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

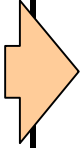
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,566	1,749	2,676	2,676	2,676
事業費 合計			2,566	1,749	2,676	2,676	2,676

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	助成人数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	112	78			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。	今後も、児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担を軽減するために、今後も継続して事業を実施していく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ 	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 児童生徒の通学の安全に配慮する必要があるため、市が本事業を行うことは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ 	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 バス通学児童生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担が軽減されるため、必要性の高い事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ 	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 本事業の経費は、補助対象者への補助金であり、経費削減は本事業の実施を困難にする。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？ 	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 本事業により、保護者の経済的負担は軽減されている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は、保護者の負担軽減を図ることにより、交通機関による通学を円滑にし、安全性を確保するためのものであり。継続して事業を行う必要がある。
----	----------------------	-----------------------------------------------------------------------

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----